



# やさか小

浜田市立弥栄小学校  
浜田市弥栄町長安本郷 325-1

～描き やりきり 創り出す～ 令和8年9月号 (文責 毛利)

## 「描き やりきり 創り出す」⑤

～描き やりきり 創り出す取組を「本気」でやってみよう～

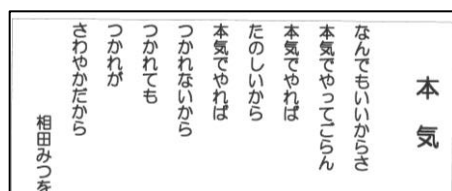


2学期は、一番長く、全校で取り組む行事がたくさんあります。9月には小中合同運動会、11月には連合音楽祭、弥栄産業祭、弥栄小文化祭などがあります。また、各種審査会に向けた作品づくりもあります。「描き やりきり 創り出す」を見える形にするチャンスが多くあるということです。そして、子どもたちに願うことは、一つ一つを「本気」で取り組むことです。これらの活動を素晴らしいものにしていくためには、「本気で描き、本気でやりきり、本気

で創り出す」ことが大切になると思います。そんな校長としての思いを子どもたちに伝えました。

始業式の中では、相田みつをさんの「本気」という詩も紹介しました。本気でやれば「楽しい」と言っています。また、本気でやれば疲れるけど、その疲れが「さわやか」と言っています。本気の先にある「楽しさ」、「さわやかさ」を子どもたちにも実感してほしいと思っています。忙しさの中にも、確かな充実感と達成感が得られる2学期にしていきたいと思います。

自分(たち)のペースで、時に休憩しながらも一つ一つのことに「本気」で取り組み、「描き やりきり 創り出す」の実現を今学期もめざしていきます。



## 夏季職員研修

～いじめ対応・特別支援教育・ICT活用・人権同和教育・不審者対応～



7月21日(火)、いじめ対応研修を行いました。スクールカウンセラーの森田先生にも入っていただき、ご指導いただきました。子どもの観察、または対話の中での気づきを対応につなげ、早い段階で校内組織の中で、重大化しないようにしていきます。大事なことは、子どもの内面に歩み寄り、寄り添い、理解しながら子どもとかわり合っていく日常を築くことです。この研修は、その際にどう教師として状況をとらえ、対応していく必要があるのかをみんなで学ぶ機会になりました。森田先生のお話は具体的な案件をとりあげた講話であったため、「自分だったら」という意識でお話を聞くことで、今後の実際の対応に活かしてはたらく学びとなりました。

7月22日(水)には、特別支援教育研修会を行いました。「通常学級における特別支援を視点とした子どもの見取りと支援」について学びました。子どもの見取りに幅が生まれると、指導・支援に幅をもたせることにつながります。それは、子どもの成長や将来を保障することにつながります。我々の特別支援教育にかかわる専門性を高めていくことは使命です。そういった点で、この日のような研修を積み上げていくことはとても価値あることです。



7月23日(木)には、小中合同でICT活用研修会と人権教育研修会を行いました。ICTの積極的な活用が叫ばれて久しいですが、それが目的化することがあってはならないと思います。昔から大事にされている指導方法や技術が効果を生み出すことはたくさんあります。単元の特性や子どもの学びの実態に応じながら一つの手段として効果的に授業の中に取り入れていくことが大事です。しかし、その活用の引き出しが我々の中になければ効果的な活用ができません。講師としてICT支援員の福永文さんをお招きし、パドレットとCanvaの活用を中心に教えていただきました。自分が担当している教科や今後の授業内容、担任をしている子どもを思い浮かべながら研修を受けることで、実践に結び付く学びができたと思います。人権教育研修会では、全日本同和会浜田支部の佐々木一俊さんと佐々木幸子さんをお迎えし、「浜田支部結成49年の取組」についてご講話をいただきました。49年間の中には、多くの取組や努力、悲しみや喜び、語り尽くせぬ歴史があると思います。その一旦であっても我々ふれさせていただいたことは、我々の人権感覚をよりいっそう磨き、人権意識を高めていく学びにつながっていきました。同和問題の解決にかかわってこられた方々の思いを受け止め、同和問題の解決に向けて、我々の立場でできることを考えていくことができました。



8月28日(金)には、不審者対応訓練を行いました。学校は比較的開放された空間です。それは、地域の方が気軽に來ることが出来る学校のよさでもあります。不審者が入りやすいリスクでもあります。我々は子どもたちの命を預かっています。そして、学校は子どもたちが安心して過ごせる場でなければなりません。この日、警察署の方から、人が來校した際の「不審者であることの判断とその対応」についてご指導いただきました。あってはならないことですが、もしもの際には、指導していただいたことをしっかりと役立てていきます。

## 運動会に向けて～自治・協働の力を高めよう～



7月10日(金)に小中合同集会を行いました。9月に予定されている弥栄小中合同運動会に向けて、小中の子どもたちが互いの学校のスローガンを発表したり、交流会をしたりしました。弥栄小学校の今年度のスローガンは、「スプラッシュ！勝利への思いを胸に いざ決戦！」です。このスローガンは子どもたちの「描き」です。それを「やりきり」、みんなで運動会を「創り出して」ほしいです。

運動会で行う応援パフォーマンスづくりの準備・練習では、見る人・聞く人を意識して、チーム全体が盛り上がるパフォーマンスをどのようにして創っていくのかを、悩みながら一生懸命話し合い、練習していくでしょう。5・6年生が基礎をしっかりと創っていかないと、全校での取組は安定しません。5・6年生には、大きな責任とプレッシャーがありますが、運動会後には、その分大きな達成感や充実感を味わってほしいと願っています。そして、「描き やりきり 創り出す」力を高めてほしいと願っています。下級生には、5・6年生の思いをしっかりと受け止め、チームの目標達成に向けて、みんなで一生懸命取り組んでほしいです。また、チームの頑張りや成長を実感したり、5・6年生の知恵や会の進め方の工夫に気づいたりすることを通して、「協働する意味」、「集団をまとめ、動かしていく方法」を学んでほしいです。自分たちの学校を自分たちで創る「自治・協働の力」を、「描き やりきり 創り出す」を合言葉とした取組の中で高めていけるとよいですね。